

令和2年度 看護部新人研修が始まりました

令和2年度は、14人の看護師・助産師が入職しました。4月1日と2日の午前中は、多職種とともに新規採用職員研修があり、2日午後から8日まで看護部の新人研修が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中、三密にならないように換気しながらの研修となりました。

◇ 看護部オリエンテーション

看護職員として自覚と責任のある行動がとれるように、病院・看護部組織についてや看護倫理について学びました。また、教育体系や看護体制、インフォームド・コンセントや看護職の責務としての自己研鑽などについて学びました。

◇ 接遇研修

接遇研修では社会人として、医療人としてのマナーを学びました。ロールプレイングも行いました。



◇ 院内防災システム研修

災害に備え、院内の防災システムや災害発生時の対応などを学びました。



◇ 感染管理

ATP 拭き取り法による手洗いチェックで正しい手洗いができているか確認し、感染管理認定看護師より感染管理について学びました。

◇ 院内オリエンテーション

病院を知るために、院内オリエンテーションで地下からヘリポートまで各部門をまわりました。薬剤部・臨床検査科・放射線科・中央材料部で直接、話を聞くことができ理解を深めることができました。



◇ 電子カルテ、看護記録について

当院の電子カルテや看護支援システムを学び、電子カルテ操作練習を行いました。



◇ BLS

心肺蘇生ガイドラインに沿った胸骨圧迫と AED の使い方を学び、実際に訓練用モデル人形で救急救命処置を行いました。





◇ フィジカルアセスメント

日常ケアに必要なフィジカルアセスメントの技術を先輩ナースから学びました。

◇ 看護技術

モデルを使って、膀胱留置カテーテル挿入や翼状針、静脈留置針挿入の看護技術を学びました。輸液ポンプやシリンジポンプも実際にさわることにより取り扱いを学んだり、注射薬ミキシングなども実際に行いました。



◇ ポジショニング、おむつ交換

褥瘡予防のポジショニングや背抜きの方法を実体験することで安楽な体位について理解することができました。おむつの選択や正しいおむつの当て方なども皮膚排泄ケア認定看護師より学びました。



◇ 目指す看護師像

2グループにわかれ、どうして看護師になったのか、自分たちに求められているもの、なりたい看護師像や不安な気持ちなどをグループワークで話し、改めて自分の目指す看護師像が明確になりました。



キラキラ原石 ～私たち伸びしろあります！～



私の目指す看護師像 ～不安を力に～

～新人アンケートより～

実技で学ぶことができわかりやすく、業務につながる研修となった

覚えることが多く不安もあるが目の前のことからクリアして頑張っていきたい

技術面だけでなく患者の安全・安楽を第一に考えてケアを行っていきたい

同期の看護観を知り親交が深まった

「初心を忘れそうになった時、患者さんのベッドサイドへ戻ってください」という看護部長の言葉が心に残りました

令和2年度も、不安な気持ちと頑張ろうという意欲の入り交じった表情で新人研修が始まりました。その新人たちが、笑顔でやさしく思いやりを大切にした看護が行えるよう支援しています。「思いやり・信頼・安心」という病院の理念のもと、患者に寄り添い、地域に必要とされる病院の看護師となってもらいたいと思っています。今年度は新型コロナウイルス感染蔓延という社会情勢の中で、研修時間が短縮されたり、内容が変更になったりと例年と少し違う一年になっていきそうです。